



少低温要求性モモの育種とキウイフルーツの水耕栽培

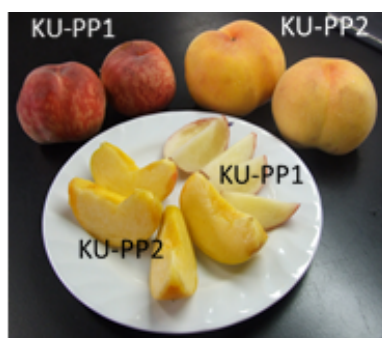
農学部 応用生物科学科

教授 別府 賢治

研究シーズの概要

別府研究室では、少低温要求性モモの育種とキウイフルーツの水耕栽培に関する研究に取り組んでいます。日本で栽培されているモモは、冬季の休眠打破に必要な低温要求量が約1000時間と多いのですが、亜熱帯地域にはこれが200時間程の少ないものがあります。ただ果実品質に劣るので、これと日本の多低温要求性品種とを交配して、低温要求量が少なく果実品質の優れるモモを選抜してきました。これまでに、白肉（品種名：KU-PP1）と黄肉（KU-PP2）の各1品種を登録し、これらの後代の育種も現在進行中です。登録品種は、各地で試験栽培されており、経済栽培契約に至った所もあります。今後、ハウスでの早期促成栽培への利用や、地球温暖化への対応としての活用も考えられます。

一方、キウイフルーツの水耕栽培については、従来は簡易な湛水式の水耕栽培は難しかったのですが、近年見出された耐水性に優れるキウイフルーツの近縁種であるマクロスペルマ種を台木として活用することで、キウイフルーツの湛水式水耕栽培を可能にしました。各種培養液条件の検討を行って、収量や果実品質等の向上を目指しています。



少低温要求性モモ
「KU-PP1」と「KU-PP2」の果実と果肉



キウイフルーツの湛水式水耕栽培

【利用が見込まれる分野】 桃、キウイフルーツなどの果樹園芸

研究者プロフィール

別府 賢治 / ベップ ケンジ



メールアドレス beppu.kenji@kagawa-u.ac.jp

所属学部等 農学部 応用生物科学科

職位 教授

学位 博士（農学）

研究キーワード 果樹園芸、サクラ属果樹、結実生理、暖地、育種